

女性デジタル人材育成事業【三原市】

個別事業費	1,851 千円
交付金額	54 千円

地域の実情と課題

女性の就労率が男性と比較して低く、結婚や出産を機に仕事を辞めるケースがあり25歳～44歳にかけてM字カーブの形状がみられる一方で、仕事と子育ての両立の推進要望は高い。

子育て期等の女性は就労に対する時間的及び物理的な制約があることから、そうした事情を抱える女性が柔軟な働き方の選択肢を広げることができる環境が必要である。

目的・目標

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象とした「テレワークスキルアップ講座」を開催し、オンラインで働くための基礎知識や実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ。

また、当該専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行う。

※主な目標: ()内は実績

事業に参加した女性の就労割合50%(44%)

事業の特徴

①テレワークスキルアップ講座(全3講座)の開催

専門講師によるスキルアップ講座により、オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学ぶ

②希望者への就労機会の提供

専門講師のネットワーク等により、本講座で身に付けた知識を活かすことのできる就労機会の提供(オンラインアシスタント)を行う

連携団体

- 三原商工会議所
- 三原臨空商工会
- 三原公共職業安定所
- 広島県

事業の効果

講座参加者38人のうち、就労を希望した17人(全て)の女性が就労を実現した。

本事業のスキームは、テレワークスキルアップ講座を受講後に、希望者に対して専門講師のネットワークにより就労機会の提供を一体的に行うものであったことから、希望した全ての女性に就労機会の提供を行うことができたことは一定の成果があったものと考えられる。

今後の課題

講座受講者が就労機会の提供を望まない理由として、「もう少しスキルアップして挑戦したい」「副業を始めたいが子供たちとの時間も大切にしたい」など将来的にテレワークをしたいことが大半を占めた。このため、過去の受講生に講座運営に関わってもらうなど、子育て中でも実際に働いている先輩テレワーカーの話の聞いたり、質問できる機会を設けることに加え、講座期間中の相談体制の強化により、不安を払拭し、就労に対して前向きになれるような支援策を検討していきたい。

◆テレワークスキルアップ講座の開催

- テレワークのはじめかた講座
(11月7日、11月14日、11月21日、11月28日)
- テレワークのお仕事体験講座(資料作成編)
(12月2日、12月9日、12月16日、12月23日)
- テレワークのお仕事体験講座(Canva・生成AI編)
(1月9日、1月16日、1月23日、1月30日)

主に子育て期等にある就労を希望する女性を対象に、専門講師による「テレワークスキルアップ講座」を開催。**【参加者数】女性38人**
オンラインで働くための基礎知識や、実務で使用するデジタルツールの操作スキルを学んだ。また、専門講師のネットワーク等により、就労の機会の提供まで一体となった支援を行った。



講座の様子

案内チラシ